

入会のご案内

“未来をつなぐのは、みんなの協力です！”



社団法人 群馬県歯科技工士会

〒371-0836 群馬県前橋市江田町 593-1

tel 027-254-4341 fax 027-254-4327

e-mail gun-gi@bay.wind.ne.jp

<http://gungi.jpn.org/>



●各支部の入会先のご案内

■社団法人群馬県歯科技工士会は、下図のように地域により8つの支部で構成されています。入会を希望される場合は、あなたが参加、活動しやすい支部を選び、下記の希望する支部の支部長又は、県技工士会事務所にお問い合わせください。



支部名	電話番号	支部長名
前橋支部	027-224-4344	布施 圭介 (フセデンタルラボ)
高崎支部	027-320-1916	今井 俊介 (株ビット・ラボ)
伊勢崎支部	0270-25-4663	田島 一栄 (株日本デント)
桐生支部	0277-77-2588	高橋 徹 (T's デンタルラボラトリー)
太田支部	0276-73-8371	平井 茂文 (グレースデント)
渋川支部	0279-26-7027	中澤 裕 (J-TEC)
沼田支部	0278-23-3245	吉野 正司 (吉野歯科技工所)
館林支部	0276-88-5428	浅沼 彰 (浅沼歯科医院)

社団法人群馬県歯科技工士会事務所 tel 027-254-4341 fax 027-254-4327

<http://gungi.jpn.org/> E-mail gun-gi@bay.wind.ne.jp

▲会費についてのご案内▼

- 入会時に必要な費用
 入会金 5,000
 一ヶ月の会費
- ▼ 県技会費 一般会員 : 3,340円 女子会員 : 1,290円
- ▼ 支部会費 各支部で異なる : 約1,000円
- ▼ 日技会費 個人事業所 : 2,000円 又は 法人事業所 : 3,300円
 勤務者 : 800円

組織の変革とは

社団法人群馬県歯科技工士会
会長 金井孝行

最近、どの業界団体も、組織率の低下や組織離れが深刻な状況になっています。社団法人群馬県歯科技工士会も同様です。そのような状況下で「組織とは」の基本的な部分を共有したいと考えます。

組織は

- 1：組織を作る事が目的ではなく、あくまでも手段である。
- 2：存在するだけでは意味が無く、行動し成果を上げる事が大切である。
- 3：行動し成果を上げる事により**社会貢献**ができる。

この3点が基本的な部分であり、組織としての結果を得るためにマネジメントが必要になり、機能的なマネジメントを行なうために執行部などの組織体系ができる。組織をマネジメントする事により社会貢献で成果をあげられる。結果、社会から自由と尊厳を与えられることで、**組織そのものそこに属する個人を守れるのです。**

我々歯科技工士は個人事業主が大多数であり、個人が組織を作り組織により自己実現をし、社会貢献をします。それにより社会は組織に自由と尊厳を与え、組織は個人に経済基盤の確立や社会的地位、自己実現の機会、社会貢献の機会を与えます。

この事を理解した上で組織運営、維持をして行かなければならず、組織に入れば何かが得られるのではなく、各自が組織をどのようにマネジメントするかを考える事が必要です。

群馬県歯科技工士会も、様々な問題を抱え組織を改革させる時が来ました。皆様もご承知の法人改革です。従来のシステムでの大幅な経済成長は難しいと考えられます。ある意味従来のシステムにおいては成熟期に差し掛かっているのではないのでしょうか。成熟期には成長は期待できません。新たなシステムの構築がいつの時代でも求められます。法人改革を、より進化した組織になるための足がかりにしなければなりません。

『組織と云うものは如何なる組織であっても何処の一部が欠けても完全という事は出来ない。また、如何なる部分であっても不必要のものはない。』

それぞれが部に於いて、その役割を果たす事によってその組織は、完全になり活動できる。今、どのような組織形態で進むのか、どのような組織を次世代に繋げて行くのか、会員一人ひとりが今まで以上に真剣に考え行動する事が必要です。組織が何かをしてくれるのではなく、各々が何が出来なのかを考える組織に変わるべきだと思います。

この文章は東京都歯科技工士会の西澤会長が『組織とは』で書いた文章の引用です。

社団法人

群馬県歯科技工士会 生涯研修事業

公益事業活動

歯科技工士として、歯科技工技術を学ぶ事を基本に群馬県歯科技工士会は会員だけではなく、歯科技工士すべてと、これから歯科技工士を目指す学生、デンタルスタッフを対象に、時には市民講座など多くの人を対象に日本歯科技工士会の協賛、厚生労働省、群馬県、関係団体等の後援を得て年間2回以上の研修、実習、講演会等を県内で開催しています。

また、歯科の専門知識以外にも社会情勢、経営、環境等の話題の研修会も各分野の専門家をお招きし開催しています。

助け合いながら進める。



講師から直接指導を受ける実習風景



真剣にミリングマシーンを使ってミリングテクニックを実践している。



山口先生の講演に聞き入る！

いい歯・いい口・いい人生 / イベント

公益事業活動

毎年11月8日の語呂合わせで「いい歯」の前後の日曜日に開催されるイベントが、『いい歯・いい口・いい人生』。

群馬県歯科技工士会、群馬県歯科衛生士会の共催で、後援（群馬県、前橋市、群馬県歯科医師会、北関東歯科用品商共同組合群馬県支部、上毛新聞）などでポスター、各メディア（新聞、ラジオ等）ホームページ、広報誌等で一般、歯科技工士、歯科衛生士、関係団体等に参加を呼びかける。ここ数年の開催場所は、前橋市のけやきウォーク前橋2F けやきホールにて、入場含めすべて無料で、けやきウォーク前橋に訪れる一般人を対象に、地域全体の口腔の公衆衛生の向上に寄与する事業である。毎年受付で参加者が500人から600人である。23年度で14回の開催を重ねて来ている。主に歯に関係する体験コーナー（バイキン、口臭、歯ブラシ指導等）を中心に、展示コーナー、相談コーナー、ミニ講演等を資格者である歯科技工士と歯科衛生士が対応する。また子供向けには、歯科の技術をいかし子供の歯ブラシ指導、指の印象を取り石こうで固めた指型を記念にわたす。子供の成長が解るので、毎年楽しみに来場する親子ずれも多く児童の健全な育成を目的とする事業になる。



義歯ネーム入れ活動 / (公益事業)

義歯ネーム入れ活動は、社団法人群馬県歯科技工士会が中心となり平成9年9月にスタートしました。

活動目的は、高齢化社会を迎えて**歯科技工士が歯科技工を通じて社会貢献できる活動**であると考え、関係団体（群馬県歯科医師会、群馬県医務課、福祉課、群馬県歯科衛生士会、歯科材料商組合等）に相談、検討、助言と協力のもと各施設を無作為にアンケートし、要望に応えるかたちで活動がスタートしました。

個人の入れ歯に名前を入れる事で、入れ歯の取り違いが無くなり、介護士等の能率も上がり、衛生面（感染症等）も解決し入所者、介護士等にも安心、安全を与えられる活動である。

10年以上の活動で群馬県内65の施設、1599人の入所者でネームを入れた。義歯数では2985床実績です。

表彰の実績として、毎年開催される群馬県歯科保健大会（主催 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県歯科医師会・群馬県学校歯科医会）において群馬県歯科技工士会会長初め4地域（高崎、前橋、伊勢崎、渋川が歯科奨励賞を受章し23年度では、保健賞を受章しました。

まだ、施設からのニーズがあるのでこれからも群馬県歯科技工士会の活動として継続し、現在では、ネーム入れ活動は介護、だけではなく、認知症（徘徊）、災害及び犯罪でも注目されています。

